

24年 長野県出身プロ野球選手の活躍は

上原 昇 (2組)

3月29日に開幕したプロ野球は、11月3日の日本シリーズ最終戦を最後に長いシーズンに幕を下ろしました。セ・リーグ3位でクライマックスシリーズ(CS)を勝ち上がった横浜DeNAベイスターズが福岡ソフトバンクホークスを破り、26年ぶりに日本一となりました。

我々が子供の頃はCSなど無く、リーグ優勝したら日本シリーズ進出でした。ベイスターズも下剋上優勝などと言われていますが、できればリーグ優勝して、堂々と日本シリーズに臨んで欲しいものです。

(巨人ファンの嘆き)

最近のプロ野球は、海の向こうのMLBに関心が移ってしまい、今一つ盛り上がりませんが、来シーズンはどんなドラマが待っているのでしょうか。

毎年(勝手に)、長野県出身選手の成績を投稿していますが今シーズンの結果を纏めてみました。

いつもながら、プロの世界は厳しいです。

プロ野球ファンの諸兄は、今シーズン初めに投稿した記事(24年3月1日付)を参照しながらお読みください。

▼牧秀悟(中野市出身、横浜DeNAベイスターズ、内野手)・・・今季からBSのキャプテンに就任。



牧秀悟選手

日本一も達成して最高のシーズンとなった。

成績は打率.294(3位)、本塁打23(4位)、打点74(3位)、安打数152(6位)とタイトルこそ獲れなかったが立派な結果であった。一時期、怪我で欠場したのが惜まれる。

オールスター戦(7/23)でもホームランを打ってMVPに輝いている。筆者も東京ドームで何度か牧選手のプレイを見ているが、試合開始前、セカンドの守備位置でスタンドに一礼する姿を見て感動した。

来季は首位打者と打点王獲得を狙って欲しい。

▼赤羽由紘(ヤクルトスワローズ、内野手)・・・今季は開幕1軍入り。1軍で36試合出場、14安打、2本塁打と実績を残した。7月に死球で左手骨折したのが惜まれる。来季は更に飛躍を。

▼横山聖哉(オリックス・バファローズ、内野手)・・・上田西高出身の今季ドラフト1位は期待に応えて、5月に1軍スタメン登録され、12試合で6安打を記録。来季の更なる活躍を期待したい。

- ▼水上由伸（西武ライオンズ、投手）・・・開幕 1 軍スタート、29 試合に登板、1 勝 1 敗 6 ホールドの結果に終わった。2 年前の新人王にしては不甲斐ない成績で、来季は挽回なるか。
- ▼内田湘大（広島東洋カープ、内野手）・・・今季は念願の 1 軍 1 試合出場して初ヒットを。3 年目の来季の期待は大きい。
- ▼高寺望夢（阪神タイガース、内野手）・・・真田中学卒で同期の高畑悟郎君（8 組）の後輩。この 2 年、1 軍実績がない。ファームではウエスタンリーグ最多安打を記録しているので、来季こそは。
- ▼笹原操希（読売ジャイアンツ、外野手）・・・今季 1 軍の実績なし。ファームで 48 試合出場。上田西高出身頑張れ。
- ▼権田琉成（オリックス・バッファローズ、投手）・・・今季 1 軍の実績なし。ファーム 31 試合登板。2 年目の来季は正念場。
- ▼巨人軍の直江大輔投手（松商学園出身）は、10 月 28 日に来季の戦力外が通達された。その 1 週間後の 11 月 3 日に巨人軍は異例の育成での再契約をするとの報道あり。上田の野球に詳しい友人の弁では「直江は線が細く、球のスピードがいまひとつ」と厳しい評価だが、1 軍経験（1 勝）もあり、24 歳とまだ若いのだから生き残りをかけて勝負をして欲しい。
- ▼国立大学（北大）出身のプロ野球選手として話題になった西武ライオンズの宮澤太成投手（25 歳、長野高校卒）も契約外となる。今季、ファームで 12 試合登板したが、1 軍登板の機会は無し。

（2024 年 11 月 5 日記）

以上